

第7単元 図形の角①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	50 (各5)	㉞式 $180 - (50 + 60) = 70$ 答 70°	[知技] 三角形の内角の和が 180° であることを理解し、1つの内角を計算で求めることができる。	三角形の内角の和が 180° であることを確認させて、全体から分かっている部分の角の合計をひけば、残りの角が求められることに気づかせる。
		㉟式 $180 - (140 + 20) = 20$ 答 20°		
		㊱式 $180 - 75 \times 2 = 30$ 答 30°		
		㉚式 $360 - (100 + 80 + 115) = 65$ 答 65°	[知技] 四角形の内角の和が 360° であることを理解し、1つの内角を計算で求めることができる。	四角形の内角の和が 360° であることを確認させ、それをを用いて、全体から分かっている部分の角の合計をひけば、残りの角が求められることに気づかせる。
		㉛式 $180 - (80 + 70) = 30$ $180 - 30 = 150$ 答 150°	[知技] 三角形の外角を、計算で求めることができる。	平角は 180° であることを確認し、外角は、 180° から残りの2角の和をひいたものを 180° からひけば求められることに気づかせる。
②	20 (各5)	① ㉜ ② ㉝ ③ ㉞ ④ ㉟	[知技] 多角形の定義や性質を理解している。	それぞれの図形の辺、角、頂点に目を向けさせ、図形の構成要素についても確認させる。
③	30 (各10)	㉞ 540° ㉟ 六角形 ㊱ 900°	[知技] 五角形、六角形、七角形について、角の大きさの和を理解している。	それぞれの図形の内角の和は、三角形に分割して考えればよいことに気づかせる。

第7単元 図形の角②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	㉞ ㉟ ㊱ ㊲	[思判表] 三角形の角を求める式を選ぶことができる。	三角形の内角の和が 180° であることを確認し、(全体-部分)の考え方で残りの角が求められることに気づかせる。
②	① ㉜ ② ㉞ ③ ㉝ ④ ㉟	[思判表] 図から四角形の内角の和の求め方を読み取り、求め方に合った式を選ぶことができる。	点線で区切られた図形を見て考えさせる。③については、点線で区切られた4つの三角形のすべての内角の和から、真ん中の4つの角の和 (360°) をひけばよいことに気づかせる。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	5～4問	3～2問	1問以下

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。